

令和5年度 中区アクションプランリスト (評価)

中区のめざす将来像
～みんなが安心を感じ、魅力をつなぎ、活力を生む～
成長の歩みを止めない中区

堺市中区では、中区地域計画(2021～2025年)を策定し、中区のめざす将来像を構成する要素として「子育て・福祉・安全・環境・歴史文化・健康・交流」の7つの分野を設定し、さらに中区地域計画を明確化するための事業計画を年度単位で策定しています。

このたび、令和5年度アクションプランリストの事業計画と指標について、その実績を振り返り、それぞれの事業ごとに評価を行いました。区役所では、この評価をもとに、次年度以降の事業内容を検討していきます。

目 次

【将来像実現をけん引する先行的取組】	ページ 1
【 子 育 て 】○子育て世代を地域全体で支援する環境整備	2
○子どもの健やかな学び・育ちの確保	3
【 福 祉 】○高齢者・障害者福祉の充実	4
○セーフティネットの保証と自立支援	4
【 安 全 】○地域防災力の向上	5
○犯罪や事故のない暮らしの実現	6
【 環 境 】○緑にあふれる清潔な街並みの維持	7
○省エネルギー化・省資源化の推進による循環型地域社会の実現	7
【 歴 史 文 化 】○歴史的な魅力の再発見	8
○文化・芸術活動の振興	8
【 健 康 】○それぞれに合った健康増進習慣の確立	9
○健康を支える地域社会の構築	9
【 交 流 】○地域課題解決力の強化	10
○区民間交流の推進	11
中区地域計画に設定した分野別要素の施策と今年度事業の相関図	12

KPI(重要業績評価指標)…中区地域計画において、7つの分野別要素それぞれに対して市民意識調査等における中区在住者の回答(そう思う、ある程度そう思うと回答した人の割合など)の目標値を指標として設定し、中区に暮らす人たちの、意識の変化をもって各分野別要素の達成度を測ります。

※各ページの割合表示は小数点以下を切り捨てし算出しています。

【将来像実現をけん引する先行的取組】

深井駅周辺地域活性化事業

関連するSDGsのゴール

3

すべての人に健康と福祉を

8

働きがいも、経済成長も

11

住み続けられるまちづくりを

17

パートナーシップで目標を達成しよう

■ 泉北高速鉄道深井駅の乗降客数の伸び率の上昇

KPI
参考
指標

【現状値】
2015年度（25,190人/日）から2019年度（26,125人/日）の乗降客の伸び率
【目標値】
2027年度から2030年度の乗降客の伸び率

0.92%/年

2割上昇

【事業概要】

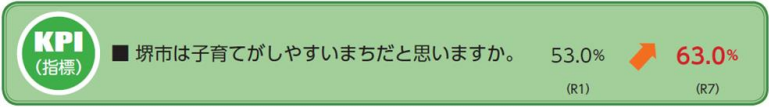
深井駅周辺の地域活性化を図るため、水賀池公園の機能強化と、土地利用転換(民間活力の導入)による活用を行い、公園と商業・サービス・居住など多様な機能が一体となった中区のシンボルとなる施設を整備することで、多様な世代が集い交流する賑わいを創出し、周辺街区も含めて都市機能を誘導する。 ※2027年度供用開始予定

【令和5年度の取組み】

取組項目	内容	スケジュール	所管課	決算額(千円)
「水賀池公園整備事業 事業実施方針」にかかる民間事業者サウンディング	令和5年3月に公表した「水賀池公園整備事業 事業実施方針」において、民間事業者との質疑応答(書面)を実施した。	4月～5月	深井駅周辺地域活性化推進室	11,572
「水賀池公園整備事業」にかかる事業者の募集及び選定	公募により民間事業者から特定公園施設及び公募対象公園施設の整備(Park-PFI)と市有地活用、その後の管理運営についての提案を求め、総合的な評価(公募プロポーザル方式)に基づいて事業者を決定し、その後、市と民間事業者との協議を行った。 【公募選定スケジュール】 令和5年 5月 事業者公募 12月 事業予定者の選定 令和6年 3月 基本協定の締結	5月～3月	深井駅周辺地域活性化推進室	
地域等との意見交換・情報収集	深井駅周辺地域の活性化の推進について、校区代表者、中区選出議員、中区役所で構成する深井駅周辺地域活性化会議において、情報共有・意見交換を行った。	4月～3月	深井駅周辺地域活性化推進室	—

【 子 育 て 】

○子育て世代を地域全体で支援する環境整備
核家族化や地域のつながりの希薄化が進む中、子育てへの不安や負担を保護者だけで抱え込むことがないように、地域全体で子育て世代を見守り、支援する環境整備を推進します。



No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため 重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
1	子育て支援関係者交流会	子育て支援関係者会議運営委員会(子育て支援ネットワーク)構成機関による情報交換会を開催する。	中区内の子育て支援関係者が集い、情報交換、交流する会を1回開催	子育て支援関係者に対して交流会を行うことで、子育て支援のネットワークの強化になっているか (アンケート実施)	子育て支援課	区内の子育て支援における情報交換会を行い、学びや理解を深めることで、子育て世帯を見守り支援する環境整備として、子育て支援ネットワークを強化する。	交流会開催回数 1回	アンケート結果 90%	A	子育て支援関係者からの聞き取りアンケートの結果、「子育て支援のネットワーク強化につながった」との意見が20人中18人あった。令和5年度の交流会は子育て支援関係者からの希望により、子ども食堂の話を中心に交流会を実施。地域資源である子ども食堂への理解が深まった。
							【a】	【a】		
2	中区子育て支援啓発事業	乳幼児全戸訪問事業をはじめ、保健センターの乳幼児健診や子育て支援事業等で「子育てまっぷ」を配布し、中区内の子育て支援資源(サークル・サロン等)の情報提供を行う。	子育てマップを作成し、保健センターや子育てひろば等で2500部を配布	子育てひろば等で、子育て世帯に対して、マップを通じて子育て資源についての理解が深まったか (アンケート実施)	子育て支援課	子育て世帯に区内の子育て情報をまとめたものを届けることで、子育てがしやすいまちであることを伝えていく。	保健センターや子育てひろば等での配布数 2500部	アンケート結果 95%	A	アンケートの結果、「子育てまっぷがわかりやすいものであった」との回答が103人中96人(93%)、役立つ情報が得られたとの回答が103人中98人(95%)あり、子育て情報や資源の理解が深まった。
							【a】	【a】		
3	孤立しない子育て支援事業中(なか)よし子育てプラン	子育て世帯の孤立化防止と地域における子どもの健やかな育ちを目的として、下記の事業を実施する。 ・子育て家庭同士、子育て家庭と子育て支援課のつながりの場の提供 ・子育てに関する悩みの早期発見のため、地域の相談支援機関と連携し、子育て支援課につながりやすい環境整備及び子育て支援課内の相談支援体制の充実 ・地域の子育て資源(子育てサークル・サロンなど)に対する支援 ・子育てに関する資源等の情報発信 ・就学後の児童を中心とした虐待未然防止のための支援	交流会や講座を10回以上開催	子育て家庭同士の交流や地域、子育て支援課等とつながることで、子育てで何か疑問などがあれば聴いてみようと思うか (アンケート実施)	子育て支援課	子育て家庭同士、子育て家庭と子育て支援課をはじめとする相談機関や地域とのつながりが構築できるようにするための場や講座等を提供する。	交流会・講座(オンラインを含む)開催回数 19回	アンケート結果 97%	A	アンケートの結果、「子育て支援課等とつながることで、子育てで何か疑問があれば聴いてみようと思う」との回答が91人中89人あり、つながりの場を提供することで、孤立しない子育て支援ができていていると考える。
							【a】	【a】		
4	子育て家庭への相談支援事業	子育て支援課 家庭児童相談員、女性相談員、ひとり親相談員、保健師、保育士、子育て支援コーディネーターによる子育て相談や母子福祉等の相談を行う。また、ひとり親への貸付・就労支援等、各関係機関と連携し地域でのセーフティネットとしての役割を担う。 ・家庭児童相談…子育てのこと、心や体の心配、幼稚園や学校生活の悩みなど18歳未満の子どもと家庭の相談。虐待の相談や通告の窓口。 ・女性相談…離婚、配偶者からの暴力、生活などの相談等、さまざまな悩み・問題を抱えた女性からの相談。 ・ひとり親相談…離婚後の不安など母子家庭・父子家庭・寡婦の生活上の相談、自立のための相談や子どもの養育などの相談。 ・保健師…子育てや健康に関する相談。季節にあった子育て情報を提供。 ・保育士…子育てに関する相談。子育てサークル・サロンに関する情報を提供。 ・子育て支援コーディネーター…子育てに関するさまざまな相談について、各家庭に応じた子育て支援サービスを提案し、情報提供や専門相談員の案内。	①家庭児童相談、女性相談、ひとり親相談機能充実のため、関係機関と連携した件数 ②子育て相談をはじめ、子育ての不安や負担軽減のために他機関と連携した件数	—	子育て支援課	従前の家庭児童、女性、ひとり親相談機能の充実に努め、問題や課題に対しては速やかに関係機関と連携を回り適切な支援を行う。 子育て相談をはじめ、子育て世帯のワンストップ相談窓口の役割を果たすことで、子育てへの不安や負担を保護者だけで抱え込むことがないよう努める。	①家庭児童相談、女性、ひとり親相談機能の充実のため、関係機関※1と連携した数 550件 ②子育て相談をはじめ、子育ての不安や負担の軽減のために他機関※2に出向き連携した数 280件 家庭児童、女性、ひとり親相談相談のべ合計 2041件	—	—	※1 主な連携機関先は、子ども相談所、生活支援課、市民課、裁判所、社会福祉協議会、弁護士等。 ※2 みんなの子育てひろば、子育てサークル・サロン、認定こども園等。
							【-】	【-】		
5	区役所 子育てひろば	中区役所内に設置する「中区役所うきうきルーム」において、就学前児童とその保護者が気楽に集い、交流できる場を設け、子育てに関する相談や地域の子育て支援情報を提供することにより、子育て中の親の子育てへの不安感や負担感等を軽減することを目的とする。	子育て講座を12回(月1回)開催	子育て中の親が子育てへの不安感や負担感等を軽減できているか (アンケート実施)	子育て支援課	子育て中の親の子育てへの不安感や負担感等を軽減する。	子育て講座開催回数 12回	アンケート結果 99%	A	子育て講座について、月1回(年間12回)事業実施した。子育て講座については、身体を動かす内容のものが人気であり、スペースの問題で一部予約制としており、安全面にも配慮している。 うきうきルームでの交流について、アンケートの結果、初めて利用した者のうち、「また利用したい」がとの回答が364人中363人(1件無記名)あった。ひろばを利用継続し、他の子育て家庭とつながったり、スタッフと子育てについて話をしたりすることで、子育てへの不安感や負担感が軽減されていると考えられる。
							【a】	【a】		
—	いま 現在からそして未来へ「いのちのありがとう」プロジェクト	(参照)【子育て】子どもの健やかな学び・育ちの確保	—	—	—	—	—	—	—	—
—	中区豊かなこころづくり応援事業	(参照)【子育て】子どもの健やかな学び・育ちの確保	—	—	—	—	—	—	—	—
—	防災に関する情報発信事業	(参照)【安全】地域防災力の向上	—	—	—	—	—	—	—	—

○子どもの健やかな学び・育ちの確保
すべての子どもが心身ともに健やかに成長することができ、豊かな人間性や社会性を身につけ、自ら考える力、主体的に行動する力を育むことができる学習環境を整備します。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため 重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
6	いま 現在からそして未来へ「いのちのありがとう」プロジェクト	中区地域計画の「すべての人が安心して楽しみながら子育てができる区」の実現をめざし、次のことに取り組む。 ・若年出産された保護者や多胎児を持つ保護者が、地域とつながりを持ち子育てに自信を持てるよう子育て支援を強化する。 ①若年出産された保護者の交流の機会を設ける。 ②多胎児の交流の機会を設ける。若年出産された保護者の交流の機会を設ける。 ③関係機関と連携して、いのちの大切さを伝える取り組みを実施する。	①baby∞star 教室を4回開催 ②ツインエンジェルズ 教室を4回開催 ③関係機関と連携して、いのちの大切さを伝える取り組みを1回実施	①教室に参加することで子育てについて悩みが解消したか ②精神的な安定が図れたか ③啓発内容が参考になったか (アンケート実施)	中保健センター	①baby∞star 若年出産した母(主に24歳以下)を対象に、子育て支援をする。対象との信頼関係を構築し、子育てへの悩みの解消や、家族計画等の助言をしていく。 ②ツインエンジェルズ 多胎児を持つ親を対象に、子育ての悩みの解消や保護者の精神的な安定を図る。 ③学校や主任児童委員に対して、いのちの大切さを伝えることの重要性を啓発する。	①baby∞star 開催回数4回。参加人数延べ乳幼児8人 保護者7人。対象者に個別連絡し、支援や助言を行った。 ②ツインエンジェルズ 開催回数4回。参加人数延べ乳幼児32人 保護者16人。対象者に個別連絡し、状況確認や助言を行った。 ③いのちの教室 学校と保健センターの連絡会等を開催し、区内の小・中学校全校と性教育を含めたいのちの教育の必要性を確認しあった。	①baby∞star アンケート結果 100% ②ツインエンジェルズ アンケート結果 ・精神的な安定が図れたか。 100% ・教室に参加することで子育てについて悩みが解消したか。75% ③いのちの大切さを伝える教育 アンケート結果 100%	A	①baby∞star 計画どおり開催することができた。 参加者全員へ教室終了後アンケートを実施。楽しく過ごせたと回答(気分転換できた様子)。「健康教育内容が理解できた」との回答が7人中7人あり、育児支援につながった。 ②ツインエンジェルズ 計画どおり開催することはできた。参加者アンケートの結果、「精神的な安定が図れた」との回答が16人中16人。「教室に参加することで子育てについて悩みが解消した」との回答が16人中12人あった。 ③いのちの大切さを伝える教育 学校と保健センターとの連絡会を開催し教育の重要性を啓発した。小中学校へ出務し、自分の身体を大切にすること、相手のことも大切にすることを伝えた。悩んだ時や困ったときには、まちの保健室として保健センターへ相談するよう啓発した。学校と保健センターの連絡会のグループワークにおいて、聞き取りアンケートを行った結果、「参考になった」との回答が19人/19人あった。
							【a】	【a】		
7	区民の主体的な健康づくり推進事業	中区地域計画における「子どもの健やかな学び・育ちの確保」と「それぞれに合った健康増進習慣の確立」「健康を支える地域社会の構築」をめざし、次のことに取り組む。 ・子どもに対して好ましい生活習慣を啓発することで、子ども自身の健康意識を高めるとともに、保護者への波及効果もねらう。	小学3～4年生を対象とした「からだのふしぎ探検隊」を1回開催	参加者が生活リズムを整えることの大切さを理解できたか (アンケート実施)	中保健センター	・からだのふしぎ探検隊の実施 生活リズム(睡眠、食生活、歯と口の健康)について総合的に学ぶことで、自らの生活習慣を見直し、生活習慣病にかかりにくい体をつくる習慣を身に付ける教室を開催する。夏休み期間中にリモートで開催することで参加しやすい機会を与える。	7月21日～8月24日にリモート開催(申込み件数 52家庭 60人)	アンケート結果 100%	A	アンケートの結果、「理解できた」との回答が20人中20人あった。 動画は3分野構成。再生回数から複数回視聴して取り組んでいると推察。(7/21 9:00～8/25 9:30の動画再生回数:生活リズム76回、朝ごはん73回、歯みがき49回) 家庭での動画視聴ができない児童に向けて、保健センターでの視聴日も設けたが希望者は無し。
							【a】	【a】		
8	中区豊かなこころづくり応援事業	4か月児健診時に、絵本一冊と子育ての参考となる資料をセットにしたブックスタートバックを配布する。ボランティアによる読み聞かせ体験に対する乳児の反応を見ながら、保護者に「読み聞かせ方法」を学んでもらう。また今後、保護者が乳児のために絵本を選ぶ参考となるよう、図書館員がオススメする絵本の展示コーナーも設ける。	絵本の配布率 100%	読み聞かせの機会が増加したか (アンケート実施)	自治推進課	絵本は定期的に見直し、継続して配布を行う。また、乳児に絵本を読む習慣をつけてもらえるよう、保護者に対し、ボランティアによる「読み聞かせ方法」を学ぶ機会を与える。	絵本の配布率 100% (配布回数 20回)	アンケート結果 95%	A	アンケートの結果、「読み聞かせの機会が増加した」との回答が156人中149人あった。
							【a】	【a】		
9	二十歳の集いの運営	二十歳となる若者の前途を地域全体で祝うために、二十歳の集い参加者を含む若者達が実行委員に加わり、アトラクションやコンサートなど企画、準備から式典の運営を行う。	参加率 70% (式典参加数 / 対象者の割合)	式典参加者の満足度 (アンケート実施)	自治推進課	節目の式典として参加者の記憶に残るよう、プログラムの内容を充実させる。	令和6年1月8日(月・祝) 参加率 74.3%	アンケート結果 66%	C	アンケートの結果、「成人としての自覚が向上した」との回答が66人中44人あった。
							【a】	【c】		
-	孤立しない子育て支援事業中(なか)よし子育てプラン	(参照)【子育て】子育て世代を地域全体で支援する環境整備	—	—	—	—	—	—	—	—
-	子育て家庭への相談支援事業	(参照)【子育て】子育て世代を地域全体で支援する環境整備	—	—	—	—	—	—	—	—
-	区役所 子育てひろば	(参照)【子育て】子育て世代を地域全体で支援する環境整備	—	—	—	—	—	—	—	—
-	食育推進事業	(参照)【健康】それぞれに合った健康増進習慣の確立	—	—	—	—	—	—	—	—
-	乳幼児のむし歯ゼロ作戦	(参照)【健康】それぞれに合った健康増進習慣の確立	—	—	—	—	—	—	—	—

【 福 祉 】

○高齢者・障害者福祉の充実
高齢者や障害者に対する理解を深め、地域全体で見守る機運を醸成し、介護や認知症予防に向けた取組を充実させることで、高齢の人や障害のある人がいつまでも健やかに暮らしていけるような仕組みを構築します。

関連するSDGsのゴール

1 貧困

2 健康と福祉

3 持続可能な開発目標

KPI
(指標)

■ 日頃から診療や相談ができるかかりつけの医師はいますか。(堺市高齢者等実態調査)

85.6%
(R1)

90.6%
(R7)

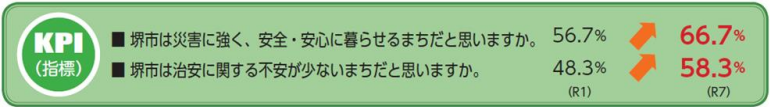
No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
10	区高齢者支援ネットワーク会議	高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、地域や関係機関が連携して効果的な支援を行うためのネットワークを構築する。	会議を1回開催	高齢者の見守りの充実を図るため、見守りネットワーク登録事業所を増やす	地域福祉課	認知症高齢者や徘徊等により行方不明になった高齢者の早期発見及び高齢者虐待の早期発見・早期対応を図る。	会議開催回数 1回	中区内事業所数 12カ所増	A	令和4年12月末現在のネットワーク登録事業所数 堺市全体2,375カ所、中区内307カ所 令和5年12月末現在のネットワーク登録事業所数 堺市全体2,391カ所、中区内319カ所
							【a】	【a】		
11	区障害者自立支援協議会	障害のある方が地域のなかで自分らしく暮らせるよう、障害福祉の関係機関が幅広く参加し、地域での相談に関するネットワークを構築することを目的に、よりよい支援ができることをめざす。	会議を10回、交流会を12回(月1回)開催	障害福祉に関わる支援者の課題解決能力が強化したか(アンケート実施)	地域福祉課	作業所交流会や指定相談事業所交流会など、地域の障害福祉に関するネットワークの中核的な役割を果たす。	①会議開催回数 10回 ②交流会開催回数 12回	アンケート結果 100%	A	アンケートの結果、65歳の年齢到達による介護保険制度への移行やBCP(自然災害発生時の業務継続計画)の作成についての取組みについて「よかった」との回答が5人中5人あった。
							【a】	【a】		
12	障害者作業所交流会	中区にある障害者作業所でネットワークを形成し、障害のある方への理解と地域啓発を目的に作業所交流イベント(ナカ・ナカマ♡ネットワーク)を開催する。また、当事者交流会等の取り組みも展開する。	会議を6回、イベントを3回開催	地域住民と交流することで、障害者への理解を促進するための参加作業所が増加したか	地域福祉課	障害者の理解と地域交流、障害者作業所による活動紹介としてパネル展示及び自主製品の販売を行う。	①会議開催回数 6回 ②イベント回数 4回	交流会参加事業所 2カ所増	A	参加作業所数 令和4年度 55カ所 令和5年度 54カ所 ※参加作業所数の変動(令和4年度から令和5年度) 作業所の閉鎖による減少 3カ所 新規参加 2カ所
							【a】	【a】		

○セーフティネットの保証と自立支援
生活保護制度などにより、生活困窮者に対するセーフティネットを確保しながら、就労支援等によって自立の実現を図ります。また、様々な依存症の影響で健全な社会生活を阻害されている人たちの回復を支援します。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
13	生活困窮者に対する相談・支援(法定受託事務)	生活困窮者の相談を受け、必要に応じて生活保護の適用を開始する。生活保護開始後は、健康管理・就労支援などの支援を導入する。	面接相談をした世帯が生活保護の申請に至っているか(面接相談があった世帯数に対する生活保護の申請があった世帯数の割合) 54%(令和4年度割合)	—	生活支援課	医療の受給が必要な者に生活保護法の適用となっている医療機関を案内し、必要に応じて継続した受診状態を確認する。	【令和5年度中】 面接相談世帯数 651件 申請件数 509件 ➡78% 【令和6年3月時点】 被保護人員数 3,512人 入院・外来患者数 3,096人 ➡88%	—	A	令和4年度 面接相談世帯のうち申請のあった世帯の割合 54% 被保護人員のうち医療扶助の適用割合 79.6%
							【a】	【-】		
14	障害福祉サービス支給決定(法定受託事務)	就労移行支援・就労継続支援の支給決定	—	—	中保健センター	—	—	—	—	
							【-】	【-】		
15	精神保健福祉相談	精神保健福祉士による、 ・精神疾患、メンタルヘルスの問題を抱えた方への医療相談や障害者就労、福祉的就労の相談支援、関係機関との連携 ・薬物・アルコール・ギャンブル等の様々な依存症について困っている、本人又は家族からの相談と周辺問題についての専門相談窓口の紹介	開庁時に随時、本人又は家族、庁内外の関係機関からの相談受付	様々な精神疾患や依存症についての普及啓発・理解促進を促し、心身ともに健康で自立した生活を営むことができる	中保健センター	医療、障害福祉、介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、普及啓発等が包括的に確保された地域包括ケアシステムを構築するため、保健、医療、福祉関係者間の顔の見える関係を構築し、情報やノウハウの共有、地域の課題を抽出し解決のための取組を推進する。	・相談者延数 3,452件 ・依存症相談数 561件 ・障害者自立支援協議会 20回 ・ケースカンファレンス 32件 ※令和6年2月末現在	—	—	令和3年度、令和4年度と比較して、相談者延数・依存症相談数ともに増加している。特に新型コロナウイルス感染症による活動自粛等の影響からか、アルコール依存症に関する相談が増えているが、電話・面接・訪問等で、すべての相談に対応している。 また、相談の中で、精神疾患や依存症についての普及啓発や理解を促すことで、心身ともに健康で自立した生活ができるように支援を行った。 ※精神保健福祉相談件数は、社会情勢や個人を取り巻く環境、身体的・心理的要因等により大きく増減する。そのため、相談件数をもって効果を評価することが困難である。検討をした結果、次年度以降はアクションプランから除外する。
							【-】	【-】		
-	子育て家庭への相談支援事業	(参照)【子育て】子育て世代を地域全体で支援する環境整備	—	—	—	—	—	—	—	—

【 安 全 】

○地域防災力の向上
危機発生時に区の防災拠点となる区役所の体制整備を行います。また「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災意識と団結力の形成に資する地域の取組を支援します。



No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
16	防災に関する情報発信事業	中区地域計画の「地域防災力の向上」をめざし、次のことに取り組む。 ・災害時、子どものいのちを守るために、子育て世代が備える物品、知っておいてほしい知識、家族や地域で取り組んでほしい内容、感染症の予防などを市民に周知し、防災への意識を高める。	①中保健センターで作成した子育て世帯向け防災ブックを4カ月児健康診査で配付 ②乳幼児健診で防災コーナーを設置し啓発を行う ③妊娠届出時に防災ファイルを配架	4カ月、1歳6カ月、3歳6カ月健診受診時に、保護者が防災啓発コーナーを体験することができたか	中保健センター	子育て世代の方を対象とした防災ブックや防災ファイルの利用、パネル展示、講座等で普及啓発していく。	①防災ブックの配付数 764人 ②乳幼児健診で防災コーナーを設置し啓発を実施 ③妊娠届出時の防災ファイル配付数 742人	健診会場にパネル等啓発ブースを設置し、全員に見てもらうことができた。	A	
							【a】	【a】		
17	中区自主防災訓練支援事業	地域住民が中心となって編成された自主防災組織において実施される訓練では、避難所運営のほか、発災後の初期消火、救急救助等に取り組むほか、過去の大災害でその重要性が再認識された非常持ち出し品等の備えについての啓発にも取り組んでいることから、それらの活動を支援する。	校区防災訓練を13校区（全校区）で実施	防災訓練実施後、防災備蓄意識が向上したか（校区自主防災組織等へアンケートを実施）	自治推進課	校区の防災訓練の実施にあわせて備蓄品を実際に確認してもらい、必要性を啓発する。	校区防災訓練実施件数 13校区	アンケート結果 93%	A	アンケートの結果、「防災訓練実施後、防災備蓄意識が向上した」との回答が143人中133人あった。
							【a】	【a】		
18	中区防災まちづくり事業	区民が安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現に寄与することを目的として、自主防災組織リーダーの育成や女性の防災活動への参加促進等を行う。また、地域特性を反映した避難所運営マニュアルや地区防災計画等の策定を支援し、より実践的な訓練を実施することで、「自分たちのまち・生命・財産は自ら守る」という地域住民の意識を高め、発災時の円滑な対応体制の確立をめざす。	①防災研修会を2回開催 ②地区防災計画を4校区で着手もしくは策定	研修内容が今後の防災活動の参考となったか（アンケート実施）	自治推進課	地域に対する研修においては、専門家による最新の情報に基づいた内容で実施する。並行して、避難所運営マニュアルや地区防災計画等の策定においても、専門家の支援を得て最新の情報や知見を盛り込めるよう支援する。	①防災研修会開催回数 2回 ②地区防災計画の着手件数 6校区	アンケート結果 95%	A	アウトプット指標について、堺市地域防災計画に規定された地区防災計画の策定に向け取り組んでいる校区は6校区（土師、深井、東深井、久世、東陶器、福田校区）である。アンケートの結果、「研修内容が今後の防災活動の参考となった」との回答が66人中63人あった。
							【a】	【a】		
-	中区区民フェスタ事業	(参照)【交流】区民間交流の推進	—	—	—	—	—	—	—	—

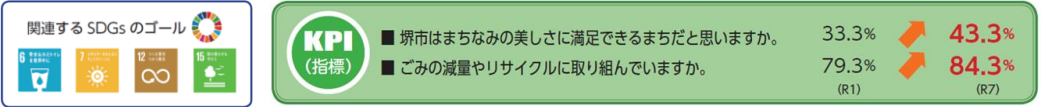
○犯罪や事故のない暮らしの実現
警察等との連携を密にすることにより、犯罪や事故の発生を抑止する環境の整備・充実について効果的に行います。また、地域での見守り活動を推進し、区民の防犯意識や交通安全に対する意識を高める取組を行います。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため 重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
19	交通安全推進事業	交通事故をなくすため、中堺警察署・西堺警察署管内における自治連合協議会と区役所が協働して交通事故防止啓発活動等を行うことにより、「安全・安心のまちづくり」に資することを目的とする。 1. 交通安全大会等に参加し、特に子どもと高齢者の交通事故防止啓発活動を実施 2. 地域ボランティアと連携し、交通安全啓発活動を実施 ・小学校の登下校時に啓発活動を実施 ・春、秋の交通安全週間にあわせ駅前や交通事故多発地域で啓発活動を実施 ・地域の中で交通事故等の発生が多い場所などについて議論し、危険箇所等の改善などについて考察する。 (中堺警察署、西堺警察署合同で事業実施予定)	交通安全大会来場者数 180名	交通事故件数が減少したか (対前年度比)	自治推進課	交通安全大会に代表される交通事故啓発活動に参加する。	交通安全大会来場者数 100名	中区内交通事故件数 17件増加(対前年)	C	堺市中区内の交通事故件数は、前年度の334件から351件に増加した。
							【c】	【c】		
20	地域安全推進事業	区民・警察等との連携・協働により広報啓発活動を行うことによって、防犯意識の高揚を図り、安全に対する自主的、積極的な取り組みを促進する。防犯灯や街頭防犯カメラの設置促進、地域の防犯環境を整備・充実させ、地域防犯力の向上を図り、犯罪発生を減少させる。	各種防犯運動(防犯キャンペーン・夜間まち歩き)を合計25回実施	刑法犯認知件数が減少したか (対前年度比)	自治推進課	防犯灯や防犯カメラの整備・維持管理体制をさらに充実させ、環境面での安心感の向上を図る。また、夜間まち歩き活動に代表される、地域・警察・行政が連携しての防犯課題の共有や防犯意識高揚につながる啓発活動に積極的に取り組む。	防犯キャンペーン・夜間まち歩き件数 合計24回	刑法犯認知件数 149件増加	C	堺市中区内の刑法犯認知件数は、前年度の702件から851件に増加した。
							【b】	【c】		
21	中区わんわんパトロール事業	区民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現をめざして、地域住民自らがパトロールグッズを携帯して犬の散歩を行うことで、防犯意識の向上および犯罪の抑止を図る。	新規登録件数を10件受付	登録者の防犯意識が向上したか (過去3年度の登録者に対して、アンケートを実施)	自治推進課	区民フェスタでの啓発活動や区役所のパネル展示や、公園や動物病院等の利用者に対して広報活動を行い、登録者を増加させるとともに、登録の一定期間後にアンケートをとることにより防犯意識の向上を図る。	新規登録件数 3件	アンケート結果 50%	C	アンケートの結果、「防犯意識が向上した」との回答が18人中9人あった。
							【c】	【c】		
22	中区青色防犯パトロール活動支援事業	区民の防犯意識への訴求や体感治安の向上を図るため、学生ボランティアとの連携により、青色防犯パトロール活動の拡充を実施。	学生ボランティアとの連携による青色防犯パトロール活動を25回実施	当該活動支援実施校区における住民調査において「治安に関する不安が少ないまちだと思いますか」の回答が増加したか	企画総務課 自治推進課	犯罪や事故の発生を抑止するため、地域での青色防犯パトロール活動を拡充し活動の認知を高め、区民の体感治安を高める。	活動回数 7回	アンケート結果 90%	A ⁻	アンケートの結果、「体感治安の向上につながった」との回答が10人中9人(無回答等7人を除く。)あった。
							【c】	【a】		
-	まちなかギャラリー事業	(参照)【環境】緑にあふれる清潔な街並みの維持	—	—	—	—	—	—	—	—
-	中区区民フェスタ事業	(参照)【交流】区民間交流の推進	—	—	—	—	—	—	—	—

【 環 境 】

○緑にあふれる清潔な街並みの維持

中区に暮らす人が、自らの街に愛着を感じられるよう、花と緑にあふれる街を創造する活動を支援し、清潔で潤いのある良好な景観を形成します。また、中区の豊かな自然環境が保有する生態系について周知を行い、その保全に向けての機運を醸成します。



KPI
(指標)

■ 堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。
33.3%

■ ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。
79.3%
(R1)

43.3%

84.3%

(R7)

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
23	不法投棄未然防止パトロール	廃棄物の不法投棄を未然防止するため、パトロールを実施する。	不法投棄パトロールを 週4回実施	不法投棄回収重量が 減少したか (対前年度比)	自治推進課	不法投棄の多発箇所を把握し、重点的に巡回する。	パトロール実施日数 週4日以上	不法投棄回収重量 約300kg減	A	パトロールを週4日以上実施し、回収重量が5,060kgから4,735kgに減少した。
							【a】	【a】		
24	中区花いっぱい魅力創造まちづくり事業	地域の多様な団体や人の連携により、美しい花を育て維持管理することで、中区の各地域に花いっぱいのうるおいと安らぎのある環境を創り出すとともに、地域の活性と交流を生み出すことをめざす。	花苗の育苗と地域への 配付(平常活動時目標: 年間5000株)	花苗の配付による地域の 公共の場における花と 緑にあふれる環境の増加 (13件以上)	企画総務課	育苗した苗を区役所周辺のみには植えるのではなく、中区自治連合協議会の協力を得て地域の公共の場に植えてもらうことで、広く中区全域に花と緑にあふれる環境を創り出す。	花苗の配付数 3560株	花苗の植付箇所数 19件	A-	春まき分について天候不良で発芽率が低かった。
							【c】	【a】		
25	まちなかギャラリー事業	公共施設への落書きを防止し、美しいまちなみを創ることを目的とする。また、中区生徒の作品発表の場を提供するとともに、広く区民にその作品を鑑賞いただくことにより、区民等の文化芸術に対する関心を高める。	公共の場へパネルを1 回設置	①設置場所への落書き 件数が0件 ②文化芸術への関心 が高まったか (アンケート実施)	企画総務課	中区内市立中学校の生徒が作成した絵画作品を加工したものを中区内の公共の場へ設置する。	設置回数 1回 (中区内市立中学校6校の 生徒12名の絵画作品を展 示)	①設置場所への落書き件数 0件 ②アンケート結果 100%	A	アンケートの結果、「文化芸術への関心が高まった」との回答が7人中7人あった。
							【a】	【a】		

○省エネルギー化・省資源化の推進による循環型地域社会の実現

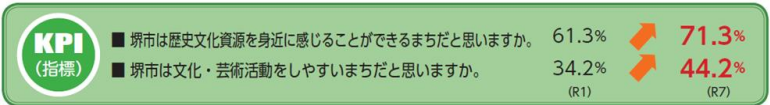
区役所の省エネルギー化・省資源化について、積極的に推進します。区民のごみの減量やリサイクルなどに関する意識の向上を図り、それぞれが自分にできることから環境にやさしい行動を自発的に選択する地域社会を実現します。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
26	リユース促進事業	まだ着られる子ども服を回収し、地域コミュニティSNS「ピアッザ」のお譲りします機能にて、希望者に無料でお渡しする取組を行うことで、リユースの促進およびピアッザの利用活性化に貢献する。	—	リユースの意識が高 まったか (アンケート実施)	企画総務課	不用になった子ども服のリユースを「ピアッザ」を通じて行う。	—	アンケート結果 100%	A	アンケートの結果、「リユースの意識が高まった」との回答が104人中104人あった。
							【-】	【a】		
27	省資源化啓発事業	資源循環推進課の監修のもと、大阪公立大学生が作成したプラスチックフリーな生活や省資源に関するクイズのパネルを中区役所1階エントランスホールで展示することで、区民の省資源化への意識を高める。	パネルを1回展示	省資源化の意識が高 まったか (アンケート実施)	企画総務課	プラスチックフリーな生活や省資源に関するパネルを区役所を訪れる市民の多くが通るエントランスホールに展示する。	パネル展示回数 1回	アンケート結果 100%	A	アンケートの結果、「省資源化の意識が高まった」との回答が15人中15人あった。
							【a】	【a】		

【 歴 史 文 化 】

○歴史的な魅力の再発見

中区に暮らす人たちに中区が有する歴史的資源の価値について改めて認識してもらい、また、中区の魅力を知らない区外の人からの興味・関心を新たに湧かせるような魅力発信を行うことで、他にはない貴重な過去からの遺産を次世代へ受け継いでいきます。



No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
28	中区魅力発信事業	市の伝統産業・地域資源の魅力を区内外へ広く発信し、文化芸術に触れる機会を提供する。これにより、歴史文化資源を身近に感じてもらい、もって、区民の地域への愛着を深めてもらう。	注染製品の販売会における購買者数 200人	注染製品等を良いと感じたか。95% (アンケート実施)	企画総務課	市の伝統産業である注染製品の販売会を中区役所で開催する。販売会と併せて注染職人による実演会を開き、購買者数と満足度を増やす。	購買者数 175人	アンケート結果 95%	A	購買者数はアンケート回収者数117人に1.5をかけて概算（購入者でもアンケートを回答しなかった人が一定数いるため）アンケートの結果、注染製品に好感を抱いた方が101人中96人あった。
							【b】	【a】		
-	中区区民フェスタ事業	(参照)【交流】区民間交流の推進	—	—	—	—	—	—	—	—

○文化・芸術活動の振興

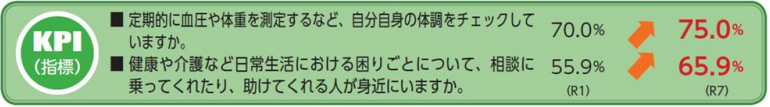
中区に暮らす人たちが身近な場で文化や芸術に触れることができ、文化活動を通して交流し、親睦を深める機会を創出することで、豊かな人間性を育み、文化に親しみ、文化を大切にする社会を構築します。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
29	中区文化のつどい事業	文化サークルの発表の場を設けることにより、中区に居住し、または就労する人々の相互の交流と親睦を深めるとともに、地域コミュニティの活性化を図り、もってわがまちを愛する健康で心豊かなまちづくりに資することを目的として中区文化のつどいを開催する。	参加目標サークル数 ①演技 27サークル ②展示 6サークル ※R4実績	参加者の満足度が向上したか (アンケート実施)	自治推進課	住民同士の親睦を深める場として、地域コミュニティの活性化を図るために継続して実施する。なお、地域に根差した事業である一方で、事業内容に大きな変化が無く、常態化している一面も抱えていることから、他イベントとの統合等を検討する。	参加サークル数 ①演技 28サークル ②展示 7サークル	アンケート結果 100%	A	参加サークルを対象としたアンケートの結果、『満足』または『やや満足』との回答が全サークルからあった。
							【a】	【a】		
30	ひるどきコンサート事業	区民に身近な場所で音楽にふれる機会を提供し、地域文化の振興を図る。	コンサートを2回開催	コンサートにより音楽(文化)に興味がより深まったか (アンケート実施)	企画総務課	区民にとって身近な場所にある区役所で音楽にふれる機会を提供する。	開催回数 2回	アンケート結果 90%	A	アンケートの結果、「コンサートにより音楽(文化)に興味がより深まった」との回答が155人中141人あった。
							【a】	【a】		
-	中区豊かなこころづくり応援事業	(参照)【子育て】子どもの健やかな学び・育ちの確保	—	—	—	—	—	—	—	—
-	まちなかギャラリー事業	(参照)【環境】緑にあふれる清潔な街並みの維持	—	—	—	—	—	—	—	—
-	中区魅力発信事業	(参照)【歴史文化】歴史的な魅力の再発見	—	—	—	—	—	—	—	—
-	中区区民フェスタ事業	(参照)【交流】区民間交流の推進	—	—	—	—	—	—	—	—

【健康】

○それぞれに合った健康増進習慣の確立

中区に暮らす人たちが、自身に合わせた健康増進に関する情報を、随時適切に得られ、主体的に健康の増進及び生活習慣の改善に取り組むことができるように支援します。



No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
31	食育推進事業	食育体験や講話を行うことにより、栄養バランス・野菜の摂取・減塩の大切さや実践方法などを学ぶ。正しい食生活を実践できる力を身につけることを目的とした食育体験教室や、食育SATシステムによる食事チェックを行う。	①食育体験教室を2回開催 ②食育SATシステムによる食事チェックを2回実施	正しい食生活につながるよう食生活に対する意識に変化があったか。 (アンケート実施)	中保健センター	栄養バランスのとれた食事、適正体重や食事量、朝食の大切さについて、区役所や身近な場所での情報や知識の提供を行い、ライフステージに応じた食育を推進する。	①食育体験教室等開催回数 2回 ②食育SATシステムによる食育チェック開催回数 4回	アンケート結果 95%	A	教室後のアンケートの結果、「家庭でバランスのとれた食事を心がけようと思った」「三色そろえて食べようと思った」との回答が62人中59人あった。(95%※無記入1人省く) 食育SATシステムによる食育チェック後のアンケートの結果、「正しい食生活を実践するきっかけになった」との回答が76人中76人あった。(100%) 中区住民で食育のボランティア活動をしている「歩み会」とともに啓発することができ、市民により身近な方から正しい食生活について伝えることができた。 また、食育SATシステムによる食事チェックを実施することで、食品模型を自ら選び、より実践的な栄養指導を行うことができた。
							【a】	【a】		
32	健康フェスタ	区民フェスタと同日開催し、健康相談、健康関連の啓発などを実施する。さまざまな年齢層が参加できるように検診・子ども向けブースなども開設する。	①ブースを1回開設 ②啓発できた人数(対前年度比)	健康フェスタに参加したことで、健康増進に取り組む気持ちになったか。 (アンケート実施)	中保健センター	区民フェスタ内で開設することで、様々な年代の区民に対して、健康に関する情報提供や啓発を行う。	①区民フェスタでの保健センターブース開設回数 1回 ②啓発できた人数 779人	アンケート結果 100%	A	啓発できた人数は、前年度の887人から779人(87%)に減少した。 肺がん検診受診者82人 防災啓発 292人 断酒会・アルコール啓発 146人 血圧測定者への個別相談:33人 アンケートの結果、「健康増進に取り組む気持ちになった」との回答が参加者全員からあった。(血圧測定時に聞き取りアンケートを実施)
							【b】	【a】		
33	がん検診受診率向上対策	中区地域計画における「健(検)診受診率向上のための体制整備」をめざし、次のことに取り組む。 死亡原因の1位である「がん」についての正しい知識を啓発し、がんに対する理解を促すことで、がん検診の受診率向上につなげる。	①日曜乳がん検診を1回実施 ②肺がん検診を区民フェスタで1回実施 ③がん検診についての健康教育を40回、1400人に実施	①日曜乳がん検診の予定する定員人数を8割満たす。 ②プレストアウェアネス(自分の乳房の状態に関心を持ち、乳房を意識する生活習慣)の意識をもつことができたか。 (アンケート実施)	中保健センター	・日曜乳がん検診、区民フェスタでの肺がん検診の実施 ・あらゆる機会でも市が実施する検診についての情報提供・啓発	①日曜乳がん検診実施回数 1回 ②肺がん検診区民フェスタで実施 1回 ③がん検診の健康教育実施回数 63回 参加者数 1455人	①日曜乳がん検診の受診者が定員数を超えての申込があり、当日9割の人が受診した。 ②プレストアウェアネスの意識をもつことできた人が94.8%(55名)と大半が自分の健康に対して意識する機会となった。	A	・日曜乳がん検診受診数 令和4年度38名 令和5年度58名 ・地域の健康教育参加者数 令和4年度43回1328名 令和5年度63回1455人 日曜乳がん検診は検診内容を変更することで定員数を増やすことができた。
							【a】	【a】		
34	乳幼児のむし歯ゼロ作戦	中区地域計画における「それぞれに合った健康増進習慣の確立」「歯と口の健康教育の推進」をめざし、次のことに取り組む。 ・中区はむし歯を持つ乳幼児が堺市で多い区である(3歳児健康診査のデータより)。2歳頃は乳臼歯(奥歯)が生え始める大事な時期であり、このタイミングに歯科保健指導を行うことで、乳幼児のむし歯を減少、かかりつけ歯科をもつ者の割合を増加させる。	歯科保健指導を24回実施	①3歳児でかかりつけ歯科をもっている者の割合を57%以上にできたか。 ②3歳児でう蝕がある児の割合を13%以下にできたか	中保健センター	定期歯科検診受診率向上・う蝕罹患率率低下のため、2歳児で全数に歯科健診と歯科保健指導を実施。受診から3～6か月後にフッ素塗布手帳を活用し、地域の歯科医院を受診するよう勧奨する。	実施回数 24回	①3歳児健康診査でのう蝕罹患率率 11% ②かかりつけ歯科を持つ者の割合 54%	B	かかりつけ歯科を持つ者の割合は減少傾向である。う蝕罹患率率は経年的に見ても減少し続けており、良い傾向である。
							【a】	【b】		
-	区民の主体的な健康づくり推進事業	(参照)【子育て】子どもの健やかな学び・育ちの確保	—	—	—	—	—	—	—	—

○健康を支える地域社会の構築

地域全体で健康増進を広く進めるために、区役所と保健医療機関で連携して検診や健康相談に関する取組を進めます。また、健康づくり自主活動グループや様々な団体と連携し、地域の人々の健康増進の輪を広げていきます。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
35	自主活動グループ支援事業	中区地域計画における「健康を支える地域社会の構築」と「区民間交流の推進」をめざし、次のことに取り組む。 ・健康づくりを自己管理できる機会を設ける。 ・健康づくり自主活動グループの活動支援により、区民の健康づくりやフレイル予防を推進する。また、区民間交流ができる機会を設ける。	①各種講座(計55回)を開催 ②自主活動グループの交流会・学習会を1回開催 ③活動紹介のパネルを1回展示	継続的に健康増進に取り組む気持ちになったか (アンケート調査)	中保健センター	・生活習慣病予防、運動習慣の獲得、フレイル予防を目的とした講座の開催をすることで、区民の学びや理解を深め、フレイル予防や健康づくりに取り組む ・自主活動グループを紹介する機会の設定	①各種講座を実施 計55回 ②自主活動グループの交流会開催回数 1回 ③活動紹介のパネル展示回数 1回	アンケート結果 89%	B	太極拳セミナー、ストレッチで姿勢改善、ウォーキング講座、健康づくり教室、オトナのためのお口の健康教室、ひらめき脳トレプラス教室などすべての教室を実施することができた。 また、運動講座を2回追加して実施。 自主活動グループの交流会を1回実施したが、グループの運動種別(ウォーキング、コッカラ体操)でそれぞれ交流会＋スキルアップを図った講座を実施することができた。 別グループの参加者が交流できるよう工夫することで活動の活性化を図ることができた。 自主活動交流会実施時のアンケートの結果、「少しずつでもやってみよう」「体操の基礎が分かって良かった」「一緒にやりたい」など健康づくりに取組んでいく趣旨の回答があり、交流会が「大変良かった」「よかった」との回答が89.1%あった。
							【a】	【b】		

【 交 流 】

○地域課題解決力の強化
様々な地域活動団体同士の相互扶助や広報活動を支援し、地域活動団体の有する力の発展・向上に寄与することで、地域の課題を主体的に解決できる強い地域力を育成します。



KPI
(指標)

■堺市は地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域での様々な活動が活発なまちだと思いますか。

57.1%
(R1)

↑

67.1%
(R7)

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
36	SHSなか学コミュニティ事業	中区内の高等学校(精華高等学校、大阪府立東百舌鳥高等学校、大阪商業大学堺高等学校)生徒の協力を得て、“若者の視点”で中区政府について、効果的な啓発方法や事業の検討を行うことにより、区民が住みよい地域社会の実現をめざす。	アンケートを2回以上実施	中区域内の事業に関心をもったか (アンケート回収率をもって、事業関心度とする。)	自治推進課	事業を通して参加学生の地域に対する関心を高め、周囲の同世代の若者たちに率先して働きかけを行ってもらえるように促す。	・アンケート実施回数 1回 ・ミーティング実施回数 1回	アンケート回収率 78%	C	アンケートの結果、対象者30人のうち、22人から回答があった。 また、ミーティングでは対象者8人全員から意見発表があった。
							【a】	【c】		
37	地域コミュニティ活性化促進事業	堺市中区に所在する地域活動団体(自治会等地縁団体・NPO団体・ボランティア団体等)における地域SNS「ピアッザ」での活動に関する情報発信を促進させることで、地域活動団体の人員・担い手不測等の解決につなげ、地域コミュニティの活性化を図る。	マッチングにつながる投稿促進のためのイベントを3回程度開催	地域SNS「ピアッザ」の活用による地域活動団体のマッチング実績	企画総務課	—	イベント開催回数 3回	中区区民フェスタにおける地域活動団体の活動紹介・ピアッザ紹介ブース出展での参加団体同士の交流創出	A	
							【a】	【a】		
-	区高齢者支援ネットワーク会議	(参照)【福祉】高齢者・障害者福祉の充実	—	—	—	—	—	—	—	—
-	区障害者自立支援協議会	(参照)【福祉】高齢者・障害者福祉の充実	—	—	—	—	—	—	—	—
-	中区防災まちづくり事業	(参照)【安全】地域防災力の向上	—	—	—	—	—	—	—	—
-	交通安全推進事業	(参照)【安全】犯罪や事故のない暮らしの実現	—	—	—	—	—	—	—	—
-	地域安全推進事業	(参照)【安全】犯罪や事故のない暮らしの実現	—	—	—	—	—	—	—	—
-	中区わんわんパトロール事業	(参照)【安全】犯罪や事故のない暮らしの実現	—	—	—	—	—	—	—	—
-	リユース促進事業	(参照)【環境】省エネルギー化・省資源化の推進による循環型地域社会の実現	—	—	—	—	—	—	—	—

○区民間交流の推進

区民にとってより親しみやすい区役所の実現と、多様な区民や地域活動団体間の交流の促進を図ることにより、人と人、地域活動団体、そして区役所が有機的につながる地域社会を形成します。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R5実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
38	中区区民フェスタ事業	中区に居住し、または就労する人々の相互交流と連帯感を高めるとともに、魅力あるまちづくりに対する意識の高揚を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的として、原池公園をメイン会場に中区区民フェスタを開催する。	参加者数(対前年度比)	参加者の満足度が向上したか(アンケート実施)	自治推進課	区民や地域活動団体との協働をはじめ、地域に根差した企業等とも連携し、野球場や広大な芝生広場を有する会場の特性を有効活用した上で、催し内容等の充実を図る。	参加者数 40,000人	地域協力者アンケート 96%	A	参加者数は、前年度の41,000人から40,000人(97%)に減少した。地域協力者アンケートの結果、好意的な意見回答者が31人中30人あった。
							【b】	【a】		
39	中区政策会議	区における施策、事業等に対し区政策会議の構成員から意見を聴取し、区民に寄り添った施策や事業の実施をめざす。	区実施の事業への意見を聴取するため、区政策会議を2回開催	会議参加により区政への参画の実感が得られたか(アンケート実施)	企画総務課	区の政策に関する事項について、意見を聴取するために区政策会議を開催する。	会議開催回数 2回	アンケート結果 81%	B	アンケートの結果、「会議参加により区政への参画の実感が得られた」との回答が22人中18人あった。
							【a】	【b】		
-	子育て支援関係者交流会	(参照)【子育て】子育て世代を地域全体で支援する環境整備	—	—	—	—	—		—	—
-	二十歳の集いの運営	(参照)【子育て】子どもの健やかな学び・育ちの確保	—	—	—	—	—		—	—
-	中区花いっぱい魅力創造まちづくり事業	(参照)【環境】緑にあふれる清潔な街並みの維持	—	—	—	—	—		—	—
-	中区文化のつどい事業	(参照)【歴史文化】文化・芸術活動の振興	—	—	—	—	—		—	—
-	ひるどきコンサート事業	(参照)【歴史文化】文化・芸術活動の振興	—	—	—	—	—		—	—
-	健康フェスタ	(参照)【健康】それぞれに合った健康増進習慣の確立	—	—	—	—	—		—	—
-	自主活動グループ支援事業	(参照)【健康】健康を支える地域社会の構築	—	—	—	—	—		—	—

今年度事業の連携状況一覧

参 考

事業名 関係課	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
	子育て支援関係者交流会	中区子育て支援啓発事業	孤立しない子育て支援事業 (なか)よし子育てプラン	子育て家庭への相談支援事業	区役所 子育てひろば	現在からそして未来へ「いのち♡ありがとう」プロジェクト	区民の主体的な健康づくり推進事業	中区豊かなこころづくり応援事業	二十歳の集いの運営	区高齢者支援ネットワーク会議	区障害者自立支援協議会	障害者作業所交流会	(法定受託事務)	生活困窮者に対する相談・支援	障害福祉サービス支給決定 (法定受託事務)	精神保健福祉相談	防災に関する情報発信事業	中区自主防災訓練支援事業	中区防災まちづくり事業	交通安全推進事業	地域安全推進事業	中区わんわんパトロール事業	中区青色防犯パトロール活動支援事業	不法投棄未然防止パトロール	中区花いっぱい魅力創造まちづくり事業	まちなかギャラリー事業	リユース促進事業	省資源化啓発事業	中区魅力発信事業	中区文化のつどい事業	ひるどきコンサート事業	食育推進事業	健康フェスタ	がん検診受診率向上対策	乳幼児のむし歯ゼロ作戦	自主活動グループ支援事業	SHS なか学コミュニティ事業	地域コミュニティ活性化促進事業	中区区民フェスタ事業
企画総務課								○	○						○							◎		◎	◎	◎	◎	◎		◎	○						◎	○	◎
自治推進課								◎	◎						○		◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎					◎			○				◎		◎	○
市民課									○																													○	○
保険年金課									○																													○	○
生活援護課									○				◎		○																							○	○
地域福祉課									○	◎	◎	◎			○																							○	○
子育て支援課	◎	◎	◎	◎	◎	○			○		○				○																							○	○
中保健センター	○	○		○		◎	◎	○	○	○	◎	◎		◎	◎	◎																◎	◎	◎	◎			○	○

◎…所管課 ○…連携課